

申込方法

1. 電話やメールなどで定員の空きがあることを確認してください。
2. 下記のいずれかの金融機関で参加費をお振り込みください。(振込名義は参加者本人の氏名をお願いします。)  

東海労働金庫名古屋北支店 普通預金口座 7445572 とくひ ちいきこくさいかつどうけんきゆう 名義：(特非) 地域国際活動研究センター	郵便振替：00800-2-48609 とくひ ちいきこくさいかつどうけんきゆう 名義：(特非) 地域国際活動研究センター
---	--
3. 参加申込書に記入し、下記申込先にFAXやメール、郵送などでお送りください。
4. 主催者がご入金と参加申込書を確認でき次第、参加証をメールまたは郵送にてお送りします。それが届いた時点で正式な受付完了となります。  
 \*お金を振り込んだのにその後連絡がない場合は、恐れ入りますが電話にてお問い合わせください。  
 \*キャンセルは11月28日までです。(返金は振込手数料を差し引いた金額となります。)

申込先

地域国際活動研究センター (担当：杉本、早川)  
 〒461-0022 名古屋市東区東大曾根町40番6 TEL&FAX 052-935-7126 E-mail sugi@cdic.jp

2008 年度 NGO 農業研修会 参加申込書

氏名			
ふりがな			
性別	男 ・ 女	年齢	
現住所 <small>(アパート名・部屋番号なども)</small>	〒		
電話番号 <small>(昼間に連絡可能なもの)</small>	E-mail <small>(携帯電話のアドレスは不可)</small>		
緊急時の連絡先	所属		
参加動機・ 研修に期待すること			
疑問点・その他  <small>*アレルギーなど、主催者側に把握しておいてほしい事柄がございましたら、それもこちらにご記入ください。</small>			
▼ 18歳未満の方は以下もご記入ください			
保護者氏名・承認印	(印)		

\*ここで取得した個人情報は本研修会の運営を目的としてのみ使用し、それ以外の目的では使用いたしません。  
 \*ホームページに参加申込書のWordファイルをご用意いたしております。



明日の農業を体験して学ぼう！

—NGO スタッフのための研修会—

**日程** 12月5日(金) 6日(土) 7日(日) <2泊3日の合宿>

**会場** 江比間野外活動センター (愛知県田原市江比間長尾1-1)

詳細は次ページへ

近年、国際協力分野で活動するスタッフやボランティアには、開発協力に対する知識と同時に具体的なスキルが求められています。当センターでは未来塾と題し、多文化共生や難民問題など幅広い講座を行ってきています。今回、NGO スタッフや NGO に興味がある人対象の農業実技研修を行うことになりました。

国際協力 NGO は多くの発展途上国の町や村で活動をしています。たいていの場合、途上国の主要産業は農業です。NGO スタッフに農業への関心や知識があることは途上国への国際協力活動に役立つ基盤になります。多くの国では産業開発に伴う環境破壊が持続的な発展を妨げています。農業が地球環境や生物の多様性の保全に役立つことができるのではないのでしょうか。多彩な講師による野外実習と座学を組み合わせ、農に強い NGO スタッフ育成を目指します。

●お問い合わせ先

特定非営利活動法人 地域国際活動研究センター 〒461-0022 名古屋市東区東大曾根町40番6 10時～18時(水・日・祝日休業)  
 TEL&FAX 052-935-7126 E-mail news@cdic.jp URL http://www.cdic.jp/

主催

社団法人 国際農林業協働協会  
 Japan Association for International Collaboration of Agriculture and Forestry (JAICAF)

特定非営利活動法人 地域国際活動研究センター  
 Community-based Development Initiatives Center (CDIC)

後援

農林水産省 (予定)  
 愛知県  
 田原市  
 名古屋NGOセンター

研修目的：開発途上国における基礎的な農業の知識を習得し、有機農法、酪農の実技研修を通じて国際協力量分野での農業をめぐる課題を学習することを目的とする。

参加費：8,000円（全宿泊、食事代込）

対象者：NGOスタッフはもちろん、NGOに関心と意欲のある方ならどなたでも歓迎です。基本的に2泊3日の間のすべてに参加できることが条件となります。（途中参加などは事前にご相談ください。）

定員：20名

協力団体：渥美どろんこ村 デイリーパラダイス NPO法人 はっくるベリーじゃむ

申込方法：この要項の最後のページをご覧ください。

## 講師プロフィール



### 石川 卓哉（いしかわたくや）

はっくるベリーじゃむ

渥美の専業農家の長男として生まれ、現在24歳、一児の父。大学在学中からNPO法人はっくるベリーじゃむの立ち上げに関わり、現在は主に企画担当のスタッフとして精力的に活動中。まったくの素人からのスタートで、試行錯誤しながら主に「百姓体験」という活動を実施・普及している。将来の目標は、なんでもできる「お百姓さん」になること。



### 伊藤 幸慶（いとう ゆきよし）

虫と耕す会

元々は韓国語の通訳を目指す。現在は刈谷に住み、小さな畑3箇所の面倒を見る。アジア学院にて、まず農業の基礎を学び始め、フィリピンの農場で働き、熊本で農家実習を受ける。農業をする友人との語りを通して、畑のあり方も考え続けている。最近は、東ティモールでの農村開発プロジェクトに関わっている。



### 河合 朝子（かわい あさこ）

日本国際飢餓対策機構

滋賀県在住。2003年に東京農業大学国際食料情報学科卒業。2004年より、日本国際飢餓対策機構の海外派遣スタッフとなり、ボリビア・アンデス高原チャヤで農牧教育プロジェクトに携わる。2007年11月に働きを終え帰国。現在、大阪事務所の世界里親会および国際協力隊の働きに携わる。国際協力隊スタッフ/ボリビア元駐在（農業アドバイザー・世界里親会スタッフ）。



### 伊藤 立（いとう たつる）

デイリーパラダイス

「酪農の楽園」を目指し、「より良い牛乳（もの）を、より多く、より安く創造すること」を目標とする牛舎「デイリーパラダイス」社主。脱サラをして故郷にUターンし、昭和55年に新規就農した。バロック音楽が流れる牛舎で、大小約200頭の乳牛を飼育している他、「酪農教育ファーム」活動にも積極的に取り組み、多くの子どもたちの生きる力の育成を支援している。



### 小笠原 弘（おがさわらひろし）

渥美どろんこ村

「農業の可能性に挑戦する」というスローガンを掲げて活動する渥美どろんこ村の代表。自給自足的な暮らしを基本としながら、1ヘクタール以上の農業生産や、子ども達の農家宿泊体験「ファームステイ」の受け入れ、ヤギのミルクや卵を使ったケーキ屋さんなど、生産だけでなく農業の魅力を発信している。現在は農業や農的暮らしを活かした高齢者福祉の実現に向けて活動中。



## スケジュール

時刻	内容	講師
●12月5日		
11:45	豊橋駅新幹線側駅出口にてマイクロバス待機 *昼食は各自で済ませておいてください。	
12:10	豊橋駅よりマイクロバス出発 - 車内にてオリエンテーション	
13:00	江比間野外活動センターに到着、受付	
13:30	開校式	
14:00	ワ講義 「農業の魅力と可能性」	石川卓哉（はっくるベリーじゃむ）
15:00	ワークショップ 「東ティモールの国と有機農業支援の5年間」	伊藤幸慶（虫と耕す会）
16:00	ワークショップ 「NGOスタッフとしてボリビア・アンデス高原農牧教育とかがわる」	河合朝子（日本国際飢餓対策機構）
18:00	休憩・夕食	
20:00	参加者・講師など交流会（ワークショップ形式）	石川卓哉・伊藤幸慶・河合朝子
22:00	就寝	
●12月6日		
7:30	起床	
8:00	朝食	
9:00	2グループに分かれて移動	
	Aグループ デイリーパラダイスにて酪農実技体験（乳しぼり、牛の飼育作業など）	伊藤立（デイリーパラダイス）
	Bグループ 渥美どろんこ村にて有機農業体験（作物収穫、農具、トラクター実習など）	小笠原弘（渥美どろんこ村）
12:00	ファーマーズキッチンにて昼食	石川卓哉・伊藤幸慶・河合朝子
13:00	Aグループ 渥美どろんこ村にて有機農業体験（作物収穫、農具、トラクター実習など）	伊藤立（デイリーパラダイス）
	Bグループ デイリーパラダイスにて酪農実技体験（乳しぼり、牛の飼育作業など）	小笠原弘（渥美どろんこ村）
17:00	江比間野外活動センターへ移動	石川卓哉・伊藤幸慶・河合朝子
18:00	夕食	
19:00	グループごとに発表準備	
22:00	就寝	
●12月7日		
7:30	起床	
8:00	朝食	
9:00	グループごとに発表準備	
10:00	グループごとに研修成果の発表会	石川卓哉・河合朝子
11:30	講師・関係者による振り返り	
12:00	修了証書授与	
12:30	昼食	
13:00	豊橋駅へ移動 - 豊橋駅にて解散（14:00予定）	

### 宿泊の諸注意

- ・宿泊に使用する野外活動センターはホテルのような施設ではありません。寝間着、タオル、歯ブラシ、歯磨きなど、必要なものはご持参ください。（近所にコンビニもございません。）
- ・部屋は男女別の相部屋となります。
- ・お風呂はご利用いただけます。

### 研修上の諸注意

- ・雨具をご持参ください。（傘で結構です。）
- ・2日目の実習では、畑や牛舎に入ります。活動的な服装で、多少汚れてもよいものをご着用ください。靴は長靴で結構ですが、ない方は多少汚れてもよいものを着用してください。
- ・野外は寒いことが予想されます。防寒着をご用意ください。